

平成 29 年度 第三回定例会議事録

市民まちづくり会議・むさしの

日時 平成 29 年 11 月 17 日(金) 午後 7 時～
場所 商工会館 3 F 消費者生活センター講座室

司会 山田

1. 外環その2について(西村、村井)

- ・中間とりまとめ資料作成のための作業部会が 11 月 2 日に開催された。
- ・今年度末に向けて議事録の整理を行っているが、都が述べた事業の必要性に対する住民側の反論に関しては、その後の議論が深まらないままの積み残した課題の多い中間とりまとめ資料となる。
- ・次回は 11 月 27 日に開催(月に 2 回のペースで開催)
- ・その他、外環の本体工事に関する情報提供も行われた(家屋調査、シールドマシン搬入時の事故、避難用連絡通路の問題等)。

2. 古民家ウォッチング関係(山田)

- ・吉祥寺地区の(景観)ウォッチングがこの 2 年間で 3 回ほど行われ、古民家の状況もある程度把握されているため、今回は、境地区の南北エリアにおけるウォッチングを検討中。

3. 景観関係(南)

- ・市のまちづくり推進課が取りまとめを行っている景観ガイドラインの「市民向け手引書」について、市民 3 名がボランティアでアドバイス作業を実施している。
- ・内容構成、デザイン等で問題点の指摘が行われた。
- ・11 月 25 日(土)には、まちづくり推進課の主催で「市民向け手引書(案)」に関する意見交換会が開催される(9:30~11:30、スイングホール)。

4. 11 月 26 日(日)のタウンサポート鎌倉今泉台との意見交換会(長谷川)

- ・13 時半開場のため、スタッフは 13 時集合
- ・参加者は、現状では 13 名から 15 名程度の予定。

5. 境山野緑地(独歩の森)の保全再生について(田中純江事務局長)

- ・境山野緑地の維持管理方針については、平成 19 年 9 月に提言を出した境山野緑地検討委員会における議論以降、同年度における市議会建設委員会、市民向け説明会、平成 20 年策定の「武蔵野市緑の基本計画」の重点施策 19 等において、二次林としての萌芽更新を目指す方向が確認あるいは承認されてきたものの、すでに 10 年を経た現在もいまだ履行に至らない状況にある。
- ・このような状況を踏まえ、武蔵野の森を育てる会では来年 2 月ごろの開催を目途として、境山野緑地の「独歩の森」の保全と活用に関する市民フォーラムの開催を検討しており、本会(市民まちづくり会議・むさしの)とも連携を図りたいとの提案があった。
- ・本会としては、武蔵野市の都市環境の向上に関わる重要な拠点であり、事業の推進を支援する必要性も高いことから、役員会において対応の方法を検討することとした。

6. プレイス西通り会について(中島)

- ・都市計画の変更に関わる見直しは順調に進んでいる。都が2040年を目途とした都市計画道路の見直し（第5次）の検討に入っていることから、これを視野に入れた対応を進めていくことになると考えられる。
- ・今後、プレイス西通りの会の規約を変更し、市内内全体の道路やまちづくりについても取り組みを広げていきたい。

7. 空き家対策委員会について（篠原）

- ・現状把握に関する調査が遅れており、第2回の会議は12月15日に開催される。
- ・住宅対策課には、鎌倉（タウンサポート鎌倉今泉台等）の事例が参考になるかもしれない、担当者は参加してはどうかと呼びかけた。

8. くらしフェスタ2017について(内門)

- ・9月22日（金）、23日（土）の二日間にわたって、武蔵野プレイス1階ギャラリーで開催された。
- ・当会では『景観ガイドライン』の「ポイント」をテーマとした展示を行い、その成果は冊子として取りまとめられた（出席者に配布）。

9. その他

- ・元会員である邑上元市長の慰労の会を検討する（復帰を期待）。
- ・会員の松下新市長については、継続か退会かの意思を確認する。
- ・空き家等計画策定委員会の井出委員長（成蹊大経済学部教授）から本会に、学生を対象としたフィールドワーク体験に関する協力依頼が来ている。

作成 南 賢二